

Profile [プロフィール]

金山 祥子…(ソプラノ)

呉羽高等学校音楽コース、国立音楽大学声楽科卒業。
ベルリン国際音楽フェスティバル「葵の上」侍女、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、日本初演「ルイズ」ブランシュ等オペラに出演。2004年、イタリア・マントヴァ音楽大学での声楽セミナーに参加。2016年、長江杯国際音楽コンクール声楽部門2位入賞。4オクターブの幅広い音域を持ち活躍。東京オペラプロデュース・メンバー。現在、竹田千津子氏に師事。

佐々木 ゆき子…(ピアノ)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学研究科修了。ラドルフツェル国際音楽アカデミーにてクラウス・シルデ氏のマスタークラスを修了。ヤングアーティストピアノコンクールにおいて金賞、富山県新人演奏会において北日本新聞音楽奨励賞を受賞。現在は演奏活動と共に後進の指導にあたる。

高尾 静佳…(ソプラノ)

呉羽高等学校音楽コース、東京藝術大学音楽学部声楽科ソプラノ専攻を卒業。
第26回富山県青少年音楽コンクール声楽部門高校の部最優秀賞。
第64回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部大阪大会第1位、同コンクール全国大会入選。声楽を申田淑子、福島明也、土田聡子の各氏に師事。
クラシックはもとより、ミュージカルやポップスまで幅広いジャンルを得意とする。東京での演奏活動を経て、今春より富山に拠点を移し積極的に演奏活動中。

西田 有沙…(メゾソプラノ)

呉羽高等学校音楽コースを経て、武蔵野音楽大学声楽学科を卒業。
平成26年度福井直秋記念奨学生。
これまでに声楽を確井智子、谷友博の各氏に師事。

西田 宏美…(クラリネット) 賛助出演

武蔵野音楽大学卒業。Conservatorio della Svizzera Italiana修士課程を首席で修了。
Aaron Copland School of Music Certificate Program修了。第18回富山県新人演奏会において富山県知事賞、北日本新聞音楽奨励賞受賞。第3回北陸新人登竜門において優秀賞受賞。現在は国内外にてソロ、室内楽、オーケストラと幅広い分野で活躍中。主宰するピッコラ音楽教室などで後進の育成にも力を注いでいる。

八田 尚子…(ピアノ伴奏)

国立音楽大学ピアノ科卒業。ウィーン市立音楽院に留学し、ディプロム優秀賞を得て卒業。
ウィーンにてリサイタルを開催し、帰国後NHK-FMリサイタルに出演。現在アンサンブルピアニストとして演奏活動を行っている。海上自衛隊音楽隊ピアノ講師。

山森 舞乃…(ピアノ伴奏)

富山県立呉羽高等学校音楽コースを経て、2015年桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。第22回、第26回富山県青少年音楽コンクール優秀賞受賞。第23回、第26回日本ピアノ教育連盟全国大会入選。第17回ブルクハルト国際音楽コンクール奨励賞受賞。ピアノを大坪亮子、三上桂子、川島伸達各氏に師事。現在富山にて演奏活動のほか、後進の指導にもあたる。

野口 悠佳…(ピアノ伴奏)

富山県魚津市出身。
武蔵野音楽大学器楽学科卒業。
現在武蔵野音楽大学大学院1年次在学中。
これまでにピアノを林美彌子、林亜希子、永岡信幸の各氏に師事。

内山 太一…(合唱指揮、バリトン) 賛助出演

武蔵野音楽大学声楽科卒、ミュンヘン国立音楽大学卒。
シューベルトの3大歌曲集をはじめとするコンサートやオペラなどに多く出演。
合唱団おおよまをはじめ、数多くの合唱団を指導。
元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。
声楽研究グループ大地の会主宰。

内山 節子…(ピアノ伴奏)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。
声楽ソロコンサートや合唱などの伴奏者として活動している。

合唱団おおよま

平成7年8月に旧大山町民を中心に結成。以来、毎年富山市大山文化会館においてオーケストラとの共演による公演を重ね、28年8月に第21回演奏会を開催した。29年からは「合唱団OEKとやま」と名称を改め、富山県民会館等でオーケストラとの公演を開催する一方、「合唱団おおよま」の名称で、大山地域での演奏活動を続けている。

村上 麻理…(ピアノ伴奏)

洗足学園音楽大学ピアノ専攻卒業。同大学専攻科修了。
黒田素子/横山幸雄/加藤徹の各氏に師事。富山県ピアノ指導者協会委員/合唱団おおよま/立山町合唱団「コロパストラレ」ピアニスト。

大江 航平…(ドラム)

洗足学園音楽大学在学中ジャズドラムを大坂昌彦、原大力、松山修に師事。
大学卒業後、第37回浅草ジャズコンテストグランプリ受賞。
増上寺和meet jazz2018優勝。第6回ちぐさ賞受賞の宮脇惇バンドに参加。
都内を中心にコンボを初め、様々なビッグバンド、レコーディングやコンサートゲストなど多岐に渡り活動する。

片山学園中学校・高等学校 吹奏楽部

こんにちは片山学園中学校・高等学校吹奏楽部です。
私たちは中高一貫校ということで、中高合同で活動しています。今回が最後の春まちコンサートということで例年以上に気持ちが入っています。お客様に感動していただけるような演奏を目指して、日々練習してきました。練習の成果をお楽しみください。

富山国際学園 吹奏楽団

私たちは現在、「富山国際学園吹奏楽団」として富山国際大学の東黒牧キャンパス、呉羽キャンパス、富山短期大学で連携しながら活動を行っています。当団は、地域活性化を目標に訪問演奏等行い、積極的に活動をしています。今回のステージでは中央農業高校、上滝中学校の皆さんと合同で演奏します。この演奏会最後のステージを盛り上げ、関わってくださった方々に感謝の気持ちを込めて演奏できるように頑張ります。

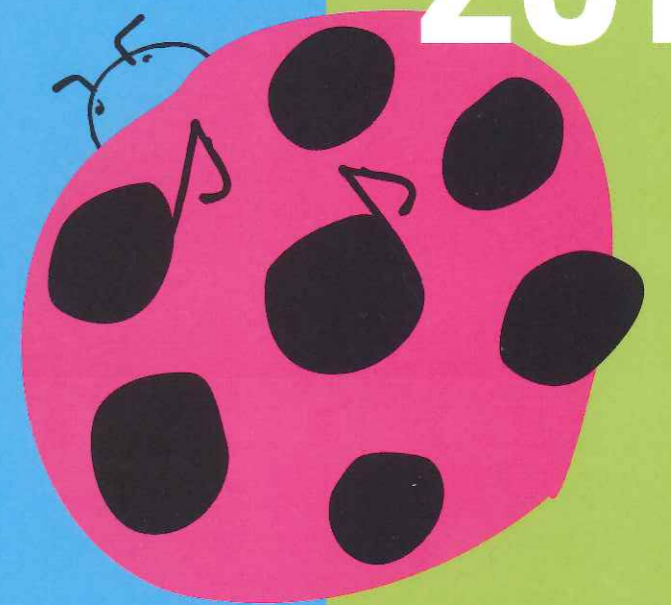
富山県立中央農業高等学校 吹奏楽部

私たち中農吹奏楽部は部員4名という少ない人数で活動しています。そのため、ひとりひとりの仲も良く、楽しく真剣に活動しています。
一音入魂～笑顔・奏力・感謝～を部のモットーとして部活動に取り組んでいます。
普段は少人数のアンサンブルを基本としているので、大人気で演奏できる機会を楽しみながら一生懸命演奏させていただきますのでよろしくお願い致します。

富山市立上滝中学校 吹奏楽部

私たち上滝中学校吹奏楽部は、1年生6名、2年生7名、計13名で、つながる～部員全員とお客さんの心をつなぐ演奏を～をモットーに活動しています。上滝中学校をいつもあたたかく見守り、応援してくださっている地域の方々に、今日は私たちが成長した姿と日頃の感謝の気持ちを伝えられるよう部員全員で心をこめて演奏します。

HARU MACHI Concert 2019



第16回
春まち
コンサート

2019. 3.10日
開場/13:30 開演/14:00
富山市大山文化会館

Program [プログラム]

独奏

佐々木 ゆき子…ピアノ

1 ノクターン 嬰ハ短調 遺作

作曲：ショパン

1810年ポーランドに生まれたショパンはその39年という短い生涯で、200曲以上の作品を残したと言われる。その中でも数多く作曲されたノクターンより、映画『戦場のピアニスト』でも演奏されて有名となった1曲をお聴きください。静かな左手の音型の上に、美しい旋律が流れ、中間部ではショパンのピアノ協奏曲のモチーフが聴こえてきます。

室内楽

佐々木 ゆき子…ピアノ
西田 宏美…クラリネット

2 クラリネット協奏曲イ長調 K.622

作曲：W. A. モーツァルト

ウィーン宮廷楽団に仕えていたクラリネットの名手シュタードラーのためにモーツァルトが最晩年1791年に作曲。ウェーバーやブラームスも同様に晩年にクラリネットの名手と出会い傑作を残している。本日は最終楽章、第3楽章 Rond (アレグロ) を演奏致します。音域により異なるクラリネットの響きと軽快な旋律をお楽しみください。

3 故郷

作曲：岡野貞一

高野辰之が作詞、岡野貞一が作曲を手掛けた文部省唱歌。今も大切に歌い継がれている美しい日本の歌を今日はクラリネットとピアノにてお楽しみください。

メゾソプラノ独唱

西田 有沙…メゾソプラノ
野口 悠佳…ピアノ伴奏

4 小さな空

作曲：武満徹

何気なく見上げた空に、記憶の隅から子どもの頃の自分の姿が蘇る。必ずしも良い思い出ばかりではなくても、今となっては懐かしかったり笑えることもあるかもしれません。私の生まれ育った上滝の空は、とても広く空気が澄んでいて星がたくさん見えます。この曲で皆様にも子どもの頃を過ごした故郷の空に思いを寄せていただけたら嬉しいです。

5 カチューシャの唄

作曲：中山晋平

この曲はトルストイの長編小説を題材とした演劇作品『復活』の劇中歌として大正3年に作曲されました。歌詞の中で繰り返される「カチューシャかわいや わかれのつらさ」というフレーズは当時の流行語にもなったそうです。素朴ながら、どこか儚く切ないメロディーと歌詞がじんわりと沁みる優しい曲です。

6 愛を受け入れなさい

作曲：レオンカヴァッロ

本人がまだ気づいていない心の変化を、「その思いこそが愛なのです、愛は素晴らしいもの」と強気に迫る恋の歌です。情熱的で激しい曲想の中に次々と溢れる、作曲者のレオンカヴァッロの魅力とも言える多様で小洒落た旋律をお楽しみください。

ソプラノ独唱

高尾 静佳…ソプラノ
山森 舞乃…ピアノ伴奏

7 O luce di quest'anima この心の光

作曲：ドニゼッティ

この曲は、オペラ「シャモニーのリンダ(Linda di Chamounix)」の第1幕でリンダ(ソプラノ)によって歌われます。待ち合わせに遅刻してしまったリンダは恋人のカルロとの結婚に想いを馳せながらこの曲を歌います。

「彼は今は売れない画家だけど、絶対才能もあるし絶対売れるはず!!
そして私は彼のお嫁さんに…♡ ああ、彼は私の心の光!!」

8 この道

作詞：北原白秋 作曲：山田耕作

児童雑誌「赤い鳥」に掲載されたものですが、今年が赤い鳥刊行100周年ということで、この作詞作曲の2人を主人公に先日、映画化もされました。歌詞には、北原白秋が晩年に旅行した北海道(1-2番)と、母の実家である熊本県南関町から柳川まで(3-4番)の道の情景が歌い込まれていて、日本の歌百選に選定されています。

9 Il bacio くちづけ

作曲：アルディーティ

この曲は私が初めて春まちコンサートに出演したときに歌った思い出の曲です。bacioとは日本語で「くちづけ」日本語訳は、もうとても恥ずかしい、イタリアらしい愛に溢れた情熱的な歌詞です。しかし、ワルツのリズムが心躍るようなとても華やかな一曲です。「宝石も真珠もいらない、あなたのまなざしは私の喜び、あなたの口づけは私の宝!!」

バリトン独唱

内山 太一…バリトン
内山 節子…ピアノ伴奏

10 帰れソレントへ

作曲：テクルティス

ソレントの美しい自然と、1人の男性の恋心を描くナポリ民謡

ソプラノ独唱

金山 祥子…ソプラノ
八田 尚子…ピアノ伴奏

11 サルビア

作詩：堀内幸枝 作曲：中田喜直

語り口調で綴られ、サルビアの真紅が呼び起こす女の情念が表現されている。静寂さと激しさが絶妙に融合し、鮮烈な印象を与える官能的な歌曲。花言葉は「燃ゆる想い」

12 オペラ「蝶々夫人」より ある晴れた日に

作曲：プッチーニ

舞台は明治時代の長崎。アメリカの海軍士官ピンカートンは蝶々さんと結婚してまもなく帰国してしまい、3年の歳月が流れた。ピンカートンがもう蝶々さんのもとに帰ってこないのではと疑う女中スズキに、彼は必ず帰ってくると、強い信念を持って切々と歌って聞かせる有名なアリア。

13 オペラ「蝶々夫人」より 可愛い坊や

作曲：プッチーニ

アメリカの軍艦が入港し、とうとう帰ってきたと喜ぶ蝶々さんのもとに現れたのは、ピンカートンの妻ケイトであった。蝶々さんの子供を引き取りに来たのだ。全てを悟り、覚悟を決め子供を渡す事に同意する。「可愛い坊や、母さんの顔を覚えておいてね。」と別れを告げ、自害する。

合唱

合唱団おおやま | 内山 太一…指揮
村上 麻理…ピアノ伴奏

14 前へ

作詞・作曲：佐藤賢太郎

「前へ」は、東日本大震災の被災者のために書かれた新しい作品を無料で配信し、ネットを通じて歌声を被災地に届けようと呼びかけた「歌おうNIPPON」プロジェクトのために書き下ろされた。

15 ミサ曲より「入祭唱」・「キリエ」

作曲：ドプロゴス

ドプロゴスは1956年アメリカ生まれでスウェーデン在住のジャズピアニスト・作曲家。ピアノソロの短い曲である入祭唱に続いて、キリエでは7拍子が多用され、はかなげできらめくようなテーマと力強いテーマが繰り返し歌われる。

16 ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード

作詞・作曲 ジョン・レノン=ポール・マッカートニー 編曲：倉知竜也

「この長く曲がりくねった道は、君の扉へ導いてくれる。決して消えることはない。」1970年5月アメリカで発売された、ビートルズ最後のオリジナル・シングル。その前月にポールはビートルズからの脱退を公表している。編曲は、平成21年の第14回合唱団おおやま演奏会用に編曲されたもの。

休憩

吹奏楽ステージ

片山学園中学校・高等学校 吹奏楽部

石川 紘一郎…指揮

17 ルイ・ブルジョアの讚美歌による変奏曲

作曲：C.T.スミス

礼拝の際によく用いられる「詩編100番」を基に作曲された変奏曲。美しいコーラルや各楽器のソロが魅力的です。軽やかな木管楽器、雄大で輝かしい金管楽器、そして、華やかな打楽器と、吹奏楽の良さが詰まった名曲をお楽しみください。

18 心の瞳

作曲：坂本九

歌手の坂本九さんが晩年に大切にしていた名曲。現在は合唱曲としても愛され続けています。「人生」や「愛」をテーマにした歌詞、美しいメロディーが魅力です。本日は吹奏楽と合唱でお届けします。

富山国際学園 吹奏楽団

富山県立中央農業高等学校 吹奏楽部
富山市立上滝中学校 吹奏楽部

上坂 博亨…指揮
大江 航平…ドラムス

19 イン・ザ・ムード

作曲：ジョー・ガーランド

1939年にサクソフォーン奏者のジョー・ガーランドによって作曲された曲です。同年にグレン・ミラー・オーケストラが演奏したことにより有名になり、今でもビッグバンドの代表曲として、世界中で愛されています。そんなジャズの名曲を原曲の雰囲気のまま吹奏楽の華やかで厚みのあるサウンドでお届けします。

20 Make her mine

作曲：ヒップスター

イギリスのバンド、ヒップスター・イメージの代表曲で、映画「スイングガールズ」の作中でも演奏されました。吹奏楽用にSwingアレンジされており、合同バンドオリジナルの演出もあります。アップテンポで乗りやすい曲です。ぜひ楽しんでお聴きください。

合唱ステージ

21 花は咲く

作詩：岩井俊二 作曲：菅野よう子

みんなて歌おう